



本日のスタートメンバー

対 大成高校 B 会場：五条高校 G

試合結果

丹羽 0 $\begin{bmatrix} 0 - 0 \\ 0 - 1 \end{bmatrix}$ 1 大成 B



今節は9月に開催予定の第6節です。天候、グラウンドコンディションもよく、選手も万全のコンディションで迎えた1戦である。前節の勢いを保ったまま勝ち点を重ねたいところである。

試合開始直後から丹羽は相手の速いプレスに対応できずに相手に押し込まれる展開が続き、我慢の時間が続いた。前半8分の相手コーナーキックからのヘディングシュート、15分のフリーキックをカットされた逆襲は、絶望的なピンチであったが、DF陣の身体を張ったプレーにより失点は何とか免れた。

試合前に監督から「サイド攻撃」の指示があったとおり、前半32分、佐藤が右サイドを突破しクロスを上げ、逆サイドに抜けたボールを築地が続けてクロスをあげるチャンスも見られたがシュートには結びつかず、前半は双方無得点で終わった。

後半も、丹羽にとって苦しい展開が続いたが、GK高田の好守に救われ、失点を許すことはなかった。そんな中、後半 15 分に丹羽にとってこの日最大の得点チャンスが訪れた。横倉がピッチ中央で相手が保持しているボールを奪取し、佐藤へスルーパスを送る。佐藤は単独ドリブルで抜け出し、相手 GK と 1 対 1 の状況に持ち込んだ。決定的なチャンスである。ベンチに歓喜の声が広がろうとした瞬間、ボールは惜しくもゴールバーの上を通過してしまった。

試合後の「相手 CK 数 11 本・丹羽 CK 数 0 本」の記録が物語るとおり、丹羽にとっては厳しい展開であったが、失点は許さずに手元の時計では後半の 40 分を経過した。このまま 0-0 で試合終了かと思われたアディショナルタイム 3 分、丹羽ゴール前の混戦から相手にシュートを決められてしまった。相手チームに勝ち点「3」をもたらし、丹羽の勝ち点「1」を奪う決勝点である。

ここまで苦しみながらもチーム全体で守備をして耐えしのいできたが、一瞬の隙を突かれ敗戦となった。

この試合を通して選手たちは最後まで走り続けることができたものの接戦で勝ち切る強豪校との力の差を知らされた。最後の最後に自分たちの努力を实らせる力をつける為にも、日頃から公式試合を想定した強度で練習に臨む姿勢が必要であると感じた。

リーグ戦は残り 2 試合ある。この 2 試合を連勝で飾り、今シーズンを締めくくりたいところである。

(文章 2 年：田中遙斗 監修 部長：若原)